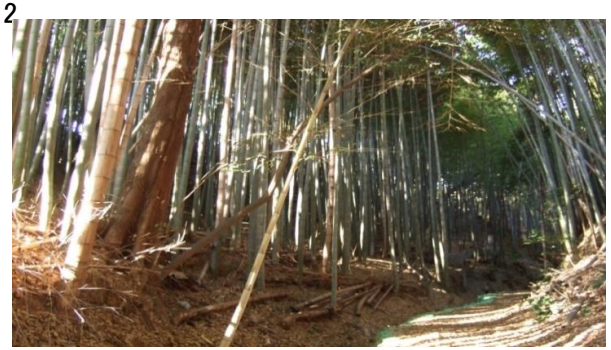
年	月日		
2012		竹林整備活動 ・8月を除き毎月第2/第4土曜日で作業を実施 ・作業日数28日間延べ182人参加 ・新規3か所、2011からの継続1箇所 維持・メンテ3か所 ・1月～5月 桑名市上野の竹林を整備伐採 （2011年からの継続） ・6月～ 桑名市上野N氏の竹林を整備伐採(新規) ・6月～7月及び12月 いなべ市の竹林を整備伐採（新規） ・維持・メンテ（整備伐採後の維持作業） 東員町長深の竹林を整備(4月) 桑名市額田竹林を整備(4月) 桑名市西高校下の竹林を整備(10月)	

年	月日		
2012			



整備前

桑名市上野の竹林

整備後

年	月日		
2012	2月4日	手作りの竹炭窯の完成 ・小林工房に島田さん設計・工事で竹炭焼き用の窯を作りました。 ・早速、竹炭焼きに挑戦しましたが、見事に失敗。	 竹炭焼きにとりかかる しかし結果は……
	4月14日	筍収穫祭 ・小林工房で筍収穫祭を開催しました。 ・一般参加を含め、30名が集まりました。 ・筍ご飯等筍料理に加え、今年2月に完成した、竹炭窯でお肉（牛・豚・鹿等）も焼きました。	
	7月28日	第3回夏休み竹工作フェスタ ・桑名市総合運動公園ディーキャンプ場で開催。 ・150名の参加がありました。 ・今回、流しそうめんコーナーを2列作り、親子で	

年	月日	
2012	10月25日	第3回桑西・竹の十三夜を開催 ・竹林を整備し皆で（自治会、学校、地域企業）、竹灯籠を作り、設置、点灯し、幻想的な竹林の中で地域の演奏家に出演頂き、竹灯かりの夕べを楽しみました。 ・1800個の竹灯篭の会場に延べ320人の皆さんが集まりました。

子供たちも手伝いにきてくれました。

尺八の音色が響く幻想的な会場

竹と月と音楽のハーモニー

桑竹会が十三夜コンサート

整備された竹林を会場とする音楽会『桑西・竹の十三夜』が、桑名市志知の桑名西高校近くの竹林で開かれました。竹明かりで彩られた幻想的な会場に、地域の音楽愛好者らの歌声、楽器の音色が響きわたりました。

桑名の竹林整備をする市民グループ『桑竹会』（神谷勝二会長）が、同会の活動を多くの人に知ってもらい、竹の魅力を感じてほしいと開いたコンサートです。ことしで3回目。

会場では、手作りの灯籠1800個が点灯され、夜の竹林を浮かび上がらせました。ステージでは、桑名西高校生が澄んだ歌声で『未来へ』などを合唱、伊藤真山さんの尺八演奏、ギターの弾き語りなど6組の演奏が繰り広げられました。

学生、家族連れら大勢の観客が訪れ、竹を加工して作られた舞台や観客席、凛（りん）とした空気も楽しんでいました。

年	月日		
2012	9月21日	桑名西高校第41回西高祭イベント参加 地域連携環境＆エコクイズ大会	
	11月10日	デンソーハートフル2012DECOウォーク大安 竹工作で出店　10名	
	12月8日	親と子の絆ストーリー「美し国おこし・三重」主催 に桑竹会をPR（展示）	
	12月27日	門松を作ろう ・今年も小林工房で門松作りにチャレンジ。 ・皆さんの作品は次の通り。	

年	月日	
2012	2月	百五銀行発行「すばらしき”みえ”」に桑竹会の活動が掲載されました。

夜の竹林を彩る幻想的な竹明かり

美しい竹林、きらめく竹明かり

桑竹会

桑名市

「わぁ、すごい」「きれい…」

昨年10月26日の夕暮れ時、県立桑名西高校へと続く竹林を訪れた人は、皆一様に感嘆の声を上げました。暗闇の中にきらめくのは、優しいオレンジ色の明かり。まるで空の星が地上に舞い降りてきたかのようです。この日開催されたのは「第2回桑西・竹の十三夜」と題したソーシャルレジャーイベント。竹林内に竹灯籠を1,300個設置し、竹明かりの中でコンサートを楽しむという趣向です。イベントを主催したのは「桑竹会」の皆さん。事前に竹林を整備し、竹灯籠はもちろん、ステージやベンチなどもすべて伐採した竹を利用して造るなどの準備を進めてきました。

もともと桑名は「播磨たけの」こ」などで知られるタケノコの名産地。かつては美しく整備された竹林が広がっていました。しかし近年は、管理が行き届かず荒廃するばかり。そんな状況を見かねて結成されたのが「桑名の竹林を再生する会」、すなわち「桑竹会」なのです。

会が結成されたのは平成21年。すでに4か所の私有地竹林を整備し、今では市外からも依頼があるといいます。桑名西高校の竹林整備も2年目を迎え、子どもたちの通学路が明るくなったと、保護者からも感謝の言葉が聞かれます。

竹林整備以外の活動も行い、たとえば、夏には「流しそうめん」大会を実施したり、地域の「エコフェスタ」などに積極的に参加し、手作りの竹製水鉄砲で子どもたちに遊んでもらったりと、竹にまつわる幅広い活動を行っています。

イベント当日、メンバーは休む暇もなく作業に専念。急な斜面を軽々と登っていく姿に頼もしさを感じます。

「竹林整備は全身運動。ウォーキングやジョギングよりも体を鍛えられるよ」と会長の神谷勝二さん。会長は、整備した竹林に遊歩道を設置して、地域の人人が集う場所を造りたいなどの夢も語ってくれました。

やがて時刻は午後5時30分、コンサートがスタートしました。大震災の被害者への黙とうの後、披露されたのは桑名西高校の生徒たちによるアカペラ合唱や、フォークデュオ「レスカ」による歌と演奏。そして水谷美之さんのアコースティックギター弾き語り、伊藤真山さんと長谷川恋山さんの尺八演奏へと続きます。「桑名歴史案内人の会」の松岡節子さんによる民話・神話語りの後は、「太陽の宴GROUP」によるアコースティックギターと太鼓の演奏が最後を締めくくりました。地域を愛する皆さんの歌や演奏は、竹明かりとともに観客を温かく包みこんでくれました。

桑名西高校の生徒たちによる合唱風景

お問い合わせ

桑竹会（神谷 勝二会長）

TEL 090・4444・6803

急な斜面での点灯作業

「第2回桑西・竹の十三夜」の準備風景

見る者を癒す優しい明かり

「桑竹会」の皆さん（前列左から2番目が神谷会長）

百五銀行「すばらしき”みえ”（平成24年2月発行）

年	月日	
2012		

第2回 桑西・竹の十三夜

平成23年10月26日（木） 桑名市志知・桑名西高校隣接竹林

主催：桑竹会（パートナーグループ）

平成23年10月、桑竹会では、放置竹林の少ないきれいな桑名をめざし、桑名西高校近くの放置されている竹林の整備、通学路の清掃と1,300個に及ぶ竹灯ろうによる幻想的な演奏会を組み合わせたソーシャルレジャーを実施しました。桑竹会では、定期的に月2回の竹林整備作業を実施。竹林整備の大切さを伝えるとともに、ソーシャルレジャーに加えて、竹炭づくりなど新たな試みも始め、竹林とともに会そのものの自立・持続可能な運営の仕組みづくりを目指しています。

整備された竹林に、みんなで竹製の灯ろうをセット。

ワークショップに高校生も参加。

幻想的な灯りのなか、ライブで参加者も楽しんだ。

竹林整備で環境を守りながら経済的に会の運営の自立を目指します！

桑竹会
会長　神谷勝二さん

美し国おこし・三重「絆づくり」（2012年3月発行）

桑竹会主催 **第三回　桑西・竹の十三夜** 後援「美し国おこし・三重」

（ 桑竹会 ＝ 桑員地区で、荒れた竹林の整備をしているボランティア団体 ）

１０月２５日（木）、桑名西高校西側の竹林で、「竹の十三夜」コンサートが開催されました。十三夜の月明かりの中、きれいに整備された竹林は、竹の灯篭にともるあかりで、幻想的な雰囲気をかもし出していました。斜面一面に１８００個の竹灯篭、ろうそくの明かりは、不思議な世界を作っていました。

コンサートは、午後５時３０分、桑名西高校の生徒による合唱で始まりました。

地元の尺八奏者伊藤真山さん、奏奏（そうそう）のギターとキーボード演奏など素敵な音楽が、竹林に響きました。ほか、マンドリン＆ギター、ギター演奏など多彩な出演者で会場は盛り上がりました。最後のギター演奏は、水谷　美之さん（デンソー大安製作所勤務）でフィナーレを飾りました。

桑竹会は、「伊勢街道から見える里山をきれいにしたい。」という大きな夢を描いて日々活動しています。現在、会場になった桑名西地区、播磨地区を含め４ヶ所の整備が終りました。整備された竹林で春は、たけのこ堀などを実施しています。きれいな景観は、周りの地区の方にたいへん喜ばれています。

このような活動がいなべにも広がるといいですね。

いなべ市市民活動センター「活センニュース」（2012年11月号）